

増刊号について

日本統計学会は、創立 60 年を契機に統計学関連の学会・研究会の共催を得て「統計学の現状と未来展望事業」を実施した。そこでは統計学の方法論的側面と、統計そのものの現段階をシンポジウム形式で討議を行ったり、各種総説・展望論文の作成を行った。シンポジウムでの討議内容は、記念事業委員会として先に統計学会誌の特別増刊号第 1 分冊として刊行した。本増刊号は、各種総説・展望論文を集めたその第 2 分冊である。

増刊号の編集は ISI 東京大会の特別号の前例にならって、通常号の編集委員と別に我々が担当した。本誌から何らかの知見を得ていただければ幸いである。

なお、本増刊号の出版は「統計学の現状と未来展望事業」に対する多くの人々や法人の寄金によっている。それらの人々・法人等の御芳名は巻末に記載してある。

この統計学の現状展望論文作成のために、何回かの検討会・研究会等を開催したが、それらは文部省科学研究費平成 3 - 4 年度総合研究 (A) (研究課題番号 03301078 研究代表者 松田芳郎) の援助を得た。研究代表者の松田芳郎氏には、実質的に本特集号の編集委員の一人として協力頂いた。執筆者の選定会議参加・執筆・レフェリーとして協力頂いた科学研究費の分担研究者・研究協力者の方々については別記して謝意に替えたい。また執筆頂いた何本かの論文については、展望論文としての性格に合致しなかったり、最終稿が未完であるといった事情で収録を見合わせた。それでも、本号の発行は遅延を重ね、竹村彰通編集担当理事に多大のご迷惑をお掛けした。

1993 年 9 月

統計学の学会活動 60 周年記念特集号

編集委員 西川 俊 作

吉 村 功